



糖尿病チェックシートの活用について

マツダ株式会社マツダ病院 薬剤部

糖尿病チェックシートとは

《広島県病院薬剤師会・広島県薬剤師会》

2019年

保険薬局薬剤師が服薬フォローアップの中で得た情報を処方医へ伝えるトレーシングレポートの取組みを開始。

2023年

薬局で薬剤師が患者と面談を行う際に使う広島県内統一の糖尿病薬チェックシートを作成。

目的と活用方法

【目的】

インスリンやSU薬等の糖尿病薬について、
指導内容やチェックポイントを標準化し、継続的にフォローアップすることで、
適正なインスリン手技の実施、低血糖の回避など、良好な血糖管理につなげる。

【活用方法】

トレーシングレポートと一緒に糖尿病薬チェックシートを添付することで
患者指導内容や評価内容を主治医へフィードバックする。

令和6年度 診療報酬改定

糖尿病患者の調剤後フォローアップの見直し

- 現行の服薬管理指導料の調剤後薬剤管理指導加算について、対象となる糖尿病薬の範囲を拡大し、医療機関と薬局が連携して糖尿病患者の治療薬の適正使用を推進する観点から評価体系を見直し、当該加算を調剤後薬剤管理指導料として新設する。

(新) 調剤後薬剤管理指導料

1 糖尿病患者に対して行った場合

60点 (月に1回)

現行

[施設基準]

- (1) 新たにインスリン製剤又はスルフォニル尿素系製剤が処方されたもの
- (2) インスリン製剤又はスルフォニル尿素系製剤に係る投与内容の変更が行われたもの

改定後

[施設基準]

- (1) 新たに**糖尿病用剤**が処方されたもの
- (2) **糖尿病用剤**に係る投与内容の変更が行われたもの

調剤後のフォローアップを推進

糖尿病患者の対象薬剤拡大(インスリン・SU薬⇒糖尿病薬)

糖尿病チェックシートの改定(2024年10月7日)

Ver.1

- ・ 低血糖の確認
- ・ 服薬アドヒアランス
- ・ 自己注射手技確認

↓ 診療報酬改定に合わせてチェックシートも改定

Ver.2

上記に加えて、

**多様化・複雑化した糖尿病薬の副作用を継続的に
モニタリングできる仕様に変更**

広島県病院薬剤師会ホームページ



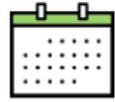
一般社団法人 広島県病院薬剤師会
Hiroshima Society of Hospital Pharmacists

検索

HOME



会員向け情報



研修会カレンダー



会員所属施設一覧



求人情報(就活情報)



文書アーカイブ



DINews

医療連携支援検討委員会からのお知らせ

入院前薬剤関連情報の提供について

+

トレーシングレポートについて

+

トレーシングレポート作成動画

+

広島県版トレーシングレポート活用事例集について

+

糖尿病薬チェックシートの活用について

+

慢性心不全患者に係わるチェックシートの活用について

吸入チェックシートの活用について



評価日： 年 月 日

指導回数 初回 継続 (回目)

患者ID：○○○○○○

患者氏名： 広島 花子

薬局名： ○○薬局

担当薬剤師： 安芸 太郎

変更前処方内容	変更後処方内容 or 新規処方内容

薬の理解と服薬状況	
①お薬の服用方法、服用時間は無理なく守れますか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ ⇒用法（食直前、週1回、空腹時等）
②飲み忘れ時、打ち忘れ時の対応はご存じですか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ ⇒用法（食直前、週1回、空腹時等）
③処方されたお薬の効き目、副作用はご存じですか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
④お薬の服用理由を教えてください	（ ）
⑤食事の摂りかたはできていますか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ ⇒クッキーの型
⑥水分摂取はできていますか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ ⇒1日 500mL以上の水分補給必要（夏場）
⑦日々の飲酒状況の確認 ⇒過度な飲酒をしていないか	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
低血糖	
インクレチン関連薬（DPP-4阻害薬、GLP-1受容体作動薬、GIP/GLP-1受容体作動薬）と重症低血糖が危惧される薬剤（インスリン製剤、SU薬、グリノド薬など）との併用時には重症低血糖に十分に注意する。SGLT2阻害薬と、インスリンやSU薬等、インスリン分泌促進薬を併用する場合は、低血糖に注意する。	
①低血糖の症状・対応方法を覚えておられますか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ ⇒（ブドウ糖、ブドウ糖スプレー）
②低血糖を起こしていませんか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ ⇒症状、DPP-4阻害薬、GIP、FGM
③低血糖の頻度はどのくらいですか？	<input type="checkbox"/> 毎日 <input type="checkbox"/> 週3回以上 <input type="checkbox"/> 週1～2回 <input type="checkbox"/> 月1～3回 <input type="checkbox"/> まとんど起こらない
④低血糖がよく起こる時間帯がありますか？	（ ） ころ ※運動・仕事・食事
注射手技/取り扱い（注射製剤を使用している場合）	
①投与タイミングが適切である	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
②投与部位を毎回変えている	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
③インスリンボール（硬結）がない	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
④混合製剤が適切に混和できる（必要な製剤のみ）	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
⑤針の脱着が適切にできる	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
⑦毎回針を交換している	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
⑦空打ちが適切にできています	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
⑧注入後にボタンをすぐに離さずに、適切な時間保持できる	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
⑨薬液に逆血がない	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
⑩針の廃棄が適切にできる	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
⑪注射剤（インスリン等）の保管が適切にできる	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
⑫注射補助具を適切に指導できる	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ ⇒ルーベ型補助具 すべり止め補助具 ダイアル回転補助具
その他	
その他、困っていることがありますか？	

薬剤別の副作用および注意点等確認	
SU薬	
【 SU薬 】	
①低血糖	低血糖の項参照（特に注意が必要）
グリノド薬	
【 速効型インスリン分泌促進薬 】	
①低血糖	低血糖の項参照（特に注意が必要）
DPP-4阻害薬	
【 DPP-4阻害薬 】	
①急性膵炎（持続的に激しい腹痛、嘔吐等）	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
②消化器症状（便秘、腹部膨満等）	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
③類天疱瘡（水疱、びらん等）	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
α-GI薬	
【 α-GI 】	
①消化器症状（便秘、腹部膨満、下痢、放屁等）	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
ビグアナイド薬	
【 ビグアナイド薬 】	
①消化器症状（便秘、腹部膨満、下痢等）	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
②乳酸アシドーシス（悪心、嘔吐、胃腸障害、筋肉痛、過呼吸等）	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
チアゾリジン薬	
【 チアゾリジン薬 】	
①心不全症状（むくみ、息切れ等）	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
SGLT2阻害薬	
【 SGLT2阻害薬 】	
①尿路・性器感染症（排尿痛、陰部の痒み等）	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
②脱水（皮膚の張りの低下、口腔内乾燥等）	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
③皮膚障害（発疹、紅斑等、特に粘膜は注意）	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
④ケトアシドーシス（全身倦怠感、悪心嘔吐、腹痛等）	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
GLP-1受容体作動薬	
【 GLP-1（+GIP）受容体作動薬 】	
①消化器症状（便秘、腹部膨満、悪心、嘔吐等）	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
イメグリミン	
【 イメグリミン 】	
①消化器症状（便秘、腹部膨満、下痢等）	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

薬の理解と服薬状況の項目

薬の理解と服薬状況	
①お薬の服用方法、服用時間は無理なく守れますか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ ⇒用法（食直前、週1回、空腹時等）
②飲み忘れ時、打ち忘れ時の対応はご存じですか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ ⇒用法（食直前、週1回、空腹時等）
③残っている薬はありますか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
④お薬が残っている理由を教えてください	()
⑤食事摂取はできていますか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ ⇒シックデイの対応
⑥水分摂取はできていますか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ ⇒1日 500mL 以上の水分補給必要（夏場）
⑦日々の飲酒状況の確認 ⇒過度な飲酒をしていないか	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

低血糖の項目

低血糖

インクレチン関連薬（DPP-4阻害薬、GLP-1受容体作動薬、GIP/GLP-1受容体作動薬）と重症低血糖が危惧される薬剤（インスリン製剤、SU薬、グリニド薬など）との併用時には重症低血糖に十分に注意する
SGLT2阻害薬と、インスリンやSU薬等インスリン分泌促進薬と併用する場合には、低血糖に十分に注意する

①低血糖の症状・対応方法を覚えておられますか？

はい いいえ ⇒ α -GI（ブドウ糖）、バクスマー他

②低血糖を起こしていませんか？

はい いいえ ⇒自覚症状、SMBG、CGM、FGM

③低血糖の頻度はどのくらいですか？

毎日 週3回以上 週1～2回 月1～3回 ほとんど起こらない

④低血糖が良く起こる時間帯がありますか？

() ごろ ※運動・仕事・食事

日本糖尿病学会ホームページ

薬剤等に関するRecommendation

🏠 > 各種活動 > 薬剤等に関するRecommendation

 [インクレチン関連薬の安全な使用に関するRecommendation](#)
(2024年5月18日)

 [糖尿病治療における SGLT2 阻害薬の適正使用に関する Recommendation](#)
(2022年7月26日)

 [メトホルミンの適正使用に関する Recommendation](#)
(2020年3月18日)

 [免疫チェックポイント阻害薬使用患者における 1 型糖尿病の発症に関する Recommendation](#)
(2016年5月18日)

🔗 [関連：免疫チェックポイント阻害薬に関連した1型糖尿病ことに劇症1型糖尿病の発症について](#)



インクレチン関連薬の適正使用に向けて

<Recommendation>

1) インクレチン関連薬と重症低血糖が危惧される薬剤の併用について

インクレチン関連薬（DPP-4阻害薬、GLP-1受容体作動薬、GIP/GLP-1受容体作動薬）は、単独で用いた場合には低血糖リスクは低いが、重症低血糖が危惧される薬剤（インスリン製剤、SU薬、グリニド薬など）との併用時には重症低血糖に十分に注意する。高齢者や腎機能低下者（含 軽度腎機能低下者）において、SU薬治療中にDPP-4阻害薬を追加した例において、重症低血糖が散見された。こうした背景から、高齢者、腎機能低下者（含 軽度腎機能低下者）、あるいは両者が併存する場合には、SU薬を減量の上、DPP-4阻害薬を追加することを必須としている。具体的には、グリメピリド（アマリール錠など）2 mg/日を超えて使用している場合は2 mg/日以下に、グリベンクラミド（オイグルコン錠、ダオニール錠など）1.25 mg/日を超えて使用している場合は1.25 mg/日以下に、グリクラジド（グリミクロン錠など）40 mg/日を超えて使用している場合は40 mg/日以下に減じた上でDPP-4阻害薬を開始する。

日本糖尿病学会ホームページ

薬剤等に関するRecommendation

🏠 > 各種活動 > 薬剤等に関するRecommendation

📄 [インクレチン関連薬の安全な使用に関するRecommendation](#)
(2024年5月18日)

📄 [糖尿病治療における SGLT2 阻害薬の適正使用に関する Recommendation](#)
(2022年7月26日)

📄 [メトホルミンの適正使用に関する Recommendation](#)
(2020年3月18日)

📄 [免疫チェックポイント阻害薬使用患者における 1 型糖尿病の発症に関する Recommendation](#)
(2016年5月18日)

🔗 関連：免疫チェックポイント阻害薬に関連した1型糖尿病ことに劇症1型糖尿病の発症について



SGLT-2阻害薬の適正使用に向けて

重症低血糖

引き続き重症低血糖の発生が報告されている。重症低血糖のうちインスリン併用例が多く、SU薬などのインスリン分泌促進薬との併用が次いでいる。DPP-4阻害薬の重症低血糖の場合にSU薬との併用が多かったことに比し、本剤ではインスリンとの併用例が多いという特徴がある。SGLT2阻害薬による糖毒性改善などによりインスリンの効きが急に良くなり低血糖が起こっている可能性がある。このように、インスリン、SU薬又は速効型インスリン分泌促進薬を投与中の患者へのSGLT2阻害薬の追加は重症低血糖を起こすおそれがあり、予めインスリン、SU薬又は速効型インスリン分泌促進薬の減量を検討することが必要である。また、これらの低血糖は、必ずしも高齢者に限らず比較的若年者にも生じていることに注意すべきである。

SGLT-2阻害薬の適正使用に向けて

インスリン

- 1-a 血糖コントロール良好（HbA1c<7.5%）な場合、開始時に基礎および追加インスリンを10～20%前後を目安に減量することを検討する。
- 1-b 血糖コントロール良好でない（HbA1c \geq 7.5%）場合、服薬開始時の基礎および追加インスリンは減量しないかあるいはわずかな減量にとどめる。

SU薬

- ・ グリメピリド2mg/日を超えて使用している患者は2mg/日以下に減じる
- ・ グリベンクラミド1.25mg/日を超えて使用している患者は1.25mg/日以下に減じる
- ・ グリクラジド40mg/日を超えて使用している患者は40mg/日以下に減じる

注射手技／取り扱いの項目

注射手技/取り扱い（注射製剤を使用している場合）	
①投与タイミングが適切である	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
②投与部位を毎回変えている	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
③インスリンボール（硬結）がない	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
④混合製剤が適切に混和できる（必要な製剤のみ）	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
⑤針の脱着が適切にできる	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
⑦毎回針を交換している	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
⑦空打ちが適切にできる	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
⑧注入後にボタンをすぐに離さずに、適切な時間保持できる	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
⑨薬液に逆血がない	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
⑩針の廃棄が適切にできる	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
⑪注射剤（インスリン等）の保管が適切にできる	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
⑫注射補助具を適切に指導できる	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ ⇒ルーペ型補助具 すべり止め補助具 ダイアル回転補助具
その他	
その他、困っていることがありますか？	

SU薬・グリニド薬・DPP-4阻害薬の項目

薬剤別の副作用および注意点等確認

【 SU薬 】

①低血糖	低血糖の項参照（特に注意が必要）
------	------------------

【 速効型インスリン分泌促進薬 】

①低血糖	低血糖の項参照（特に注意が必要）
------	------------------

【 DPP-4阻害薬 】

①急性膵炎（持続的に激しい腹痛、嘔吐等）	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
②消化器症状（便秘、腹部膨満等）	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
③類天疱瘡（水疱、びらん等）	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無

α-GI薬・ビグアナイド薬・チアゾリジン薬の項目

【 α-GI 】	
①消化器症状（便秘、腹部膨満、下痢、放屁等）	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

【 ビグアナイド薬 】	
①消化器症状（便秘、腹部膨満、下痢等）	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
②乳酸アシドーシス（悪心、嘔吐、胃腸障害、筋肉痛、過呼吸等）	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

【 チアゾリジン薬 】	
①心不全症状（むくみ、息切れ等）	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

ビグアナイド薬に限らず、シックデイルールを主治医から説明を受けているか ぜひご確認を。

SGLT-2阻害薬・GLP-1製剤・イメグリミンの項目

【 SGLT2阻害薬 】		
①尿路・性器感染症（排尿痛、陰部の痒み等）	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
②脱水（皮膚の張りの低下、口腔内乾燥等）	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
③皮膚障害（発疹、紅斑等、特に粘膜病変は注意）	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
④ケトアシドーシス（全身倦怠感、悪心嘔吐、腹痛等）	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無

【 GLP-1（+GIP）受容体作動薬 】		
①消化器症状（便秘、腹部膨満、悪心、嘔吐等）	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無

【 イメグリミン 】		
①消化器症状（便秘、腹部膨満、下痢等）	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無

糖尿病連携シリーズ研修会(全3回)

～質の高い服薬フォローアップを実践しよう～

時下、ますますのご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度、糖尿病連携シリーズ研修会を全3回シリーズで開催する事となりましたのでご案内させていただきます。内容としては糖尿病治療における服薬フォローアップのスキルアップを目的に本年度1月より月1回のペースで計3回研修会を実施致します。各回の研修内容はそれぞれ関連しておりますので、先生方におかれましては全3回ともご参加頂ますようお願い致します。

共催

(一社) 広島県病院薬剤師会専門薬剤師委員会(糖尿病) /
(一社) 広島県病院薬剤師会地域医療連携支援検討委員会 /
(公社) 広島県薬剤師会 / 株式会社アステム

糖尿病チェックシート普及活動

2024年

広島支部で研修会 済

2025年

呉支部と東支部で開催予定

第1回 2024年1月18日(木)19:00～20:30

「糖尿病チェックシートの活用について」(30分)

寺岡記念病院 薬剤科 科長 堀川 俊二 先生

「糖尿病治療概論」(60分)

広島大学病院 内分泌・糖尿病内科 講師 大野 晴也 先生

第2回 2024年2月29日(木)19:00～20:30

「糖尿病薬チェックシートの活用に向けて
～薬局での調剤・投薬時薬剤管理指導術～」(30分)

広島市民病院 薬剤部 石田 翔 先生

「「できない理由」から考えるフォローアップ」(30分)

みわ調剤薬局 栗原 鑑三 先生

「糖尿病薬物療法の変遷と課題

～患者さんをいかに支援するか～」(30分)

北里大学 名誉教授

株式会社アステム 特別顧問 厚田 幸一郎 先生

第3回 2024年3月18日(月)19:00～20:30

「薬剤師から発信するシックデイカードを活用した多職種連携」(60分)

せいら調剤薬局 廣田 有紀 先生

「糖尿病を専門とする薬剤師が患者支援で大事にしていること

～健康な人と変わらない自分らしさが保証される人生～」(30分)

広島大学病院 薬剤部 大東 敏和 先生

まとめ

《大切なこと》

薬の効果や副作用を確認する上で、

薬局がどこであれ、薬剤師が誰であれ、

いかなる状況でも、基本的な確認事項を漏れなく実施できること。

処方医との情報共有が必要な場合は（緊急性を除く）、

トレーシングレポートと併せて糖尿病薬チェックシートを

ご活用いただければ幸いです。



ご清聴ありがとうございました。